

特別活動（ホームルーム）指導案

令和2年11月16日（月）3校時（11:00～11:50）2年 建築科 多目的室 指導者 篠木 秀明

1 題材名 「企業が求める『人財』～学校生活を振り返ろう～」

2 題材観（生徒の実態を含む）

本題材は、高等学校学習指導要領第5章特別活動〔ホームルーム活動〕2内容（2）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア「自他の個性の理解と尊重,よりよい人間関係の形成」に関わるものである。

研究協力校は、1学年工業系2学級、商業系3学級で、県内唯一の工業系と商業系が併設された学校である。工業系、商業系それぞれくり募集となっており、入学後、学科・コースを決定する。工業系は1年次の前半で、生産システム科（機械システムコース・電気システムコース）、建築科（建築コース）それぞれ基礎的な学習を行い、コース選択後、後半からコース別学習となっている。商業系は、1年間商業の基礎学習を行い、2年次から総合ビジネス科、情報ビジネス科に分かれ科別学習となっている。工業系、商業系共に、生徒それぞれの興味や特性、将来目指す理想像を鑑みて学科選択を行っている。生徒の大半は、真面目で素直な性格であり、落ち着いた学校生活を送っている。その反面、コミュニケーションをとるのが苦手で、他者との関わりに消極的な生徒も少なくない。卒業後、よりよい社会生活を営む上でも、仕事を円滑に遂行する上でも、コミュニケーション能力の向上は必要不可欠である。これは、私が本研修を通して、社会人に求められる資質・能力の中で、最も重要だと感じたことである。本題材ではペアワーク等を通し、適切なコミュニケーションのとり方を考えさせたい。また、研修先企業の経営方針や研究協力校の学校経営方針についても触れた上で、社会人に求められる資質・能力について考えさせ、これからの学校生活でコミュニケーション能力を身に付けさせたく本題材を設定した。

3 研修との関わり

研修先の石川建設株式会社は、総合建設業として関東一円を営業基盤に、各種建築物、土木インフラ施設など幅広い分野で活躍している。会社のビジョンを「～建ててからが本当のお付き合い～お客様・社員・協力業者・地域の皆様から『石川建設で良かった』と思われる会社を目指す！」としていて、質の高い建築物や工作物を造ることだけではなく、お客様を中心に、それに携わる全ての人を大切にしていることが伺える。その具体策として「顧客満足フロー」を掲げている。このフローでは、「挨拶＋コミュニケーション」→「5S＋KY」→「フォローアップ体制＋メンテナンス体制」→「安心→信頼→お客様満足（CS建物ライフサイクルの確立）」とつなげている。

本研修の1ヶ月間は新入社員研修に参加し、上記の会社概要や、社会人としての心構え、企業に必要な人財（石川建設では人材ではなく人財としている）になるためには、顧客満足を上げるための手立て等、多くのことを学んだ。現在は工事本部、安全・品質部に配属されている。工事現場では現場監督が全体の指揮を取っているが、その監督でも気づきにくい危険について指摘し、事故を未然に防いだり、現場に必要な物を配付したりと、後方支援を行っている。

これらの研修を通し、学校生活で実践できることを考えると、顧客満足フローにある「挨拶＋コミュニケーション」なのではないかと感じた。仕事を進める上では、個人で行うことは少なく、大なり小なりチームになって行っているため、仕事の諸問題の解決、効率化や精度の向上を図る上で「挨拶＋コミュニケーション」は重要なことである。学校生活でも挨拶を原点とし、適切なコミュニケーションがとれるよう生徒たちと関わりをもちたいと考える。

4 指導方針

- (1) ペアワークを通し、適切なコミュニケーションのとり方を体得する。また、コミュニケーションのはじまりは挨拶であると理解させ、学校生活でも意識して実践できるように促す。

(2) 企業が求める「人財」について理解させ、これからの学校生活で実践できることについて、自らの考えをまとめさせる。

5 評価規準 (事前の活動→本時の活動→事後の活動)

評価規準	集団活動や生活への関心・意欲・態度	企業が求める「人財」について考え、学校生活で行えることに取り組もうとしている。	
	集団の一員としての思考・判断・実践	ペアワークを通し、積極的にコミュニケーションをとり、相手に伝わるよう活動している。	
	集団活動や生活についての知識・理解		
時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	知識・理解	思考・判断・実践	
事前の活動			・企業が社員に求めている資質・能力について、事前アンケートを実施する。
本時の活動	・ペアワークを通して、仕事を円滑に進めるためのコミュニケーション能力について理解している。	・ペアワークを通して、相手に自分の思いが伝えられるよう考え、実践している。 ・企業が求める「人財」について考え、これからの学校生活で実践できることをまとめることができる。	・ペアワーク ・ワークシート ・挨拶活動
事後の活動	・企業が求める「人財」について理解している。	・企業が求める「人財」について考え、今後の行動に結び付ける。	・これからの学校生活で行うことをまとめ、今からできることを実践していく。

6 本時の学習指導

(1) 目標 適切なコミュニケーションのとり方を知り、企業が求める「人財」について考え、今後の学校生活での目標を立てることができる。

(2) 準備 【教員】 パソコン、プロジェクタ、ワークシート、ストップウォッチ、A4用紙
【生徒】 筆記用具

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (太字はキャリア教育との関わり)
<導入> 1 研修先企業について説明を聞く。 ・研修先企業について興味・関心をもつ。 ・企業で求められている人財について知る。 — 予想される生徒の反応 — ・研修先企業は総合建設業なので、様々な	5分	・研修先企業について説明する。 ・研修先企業で行われている研修について説明する。 ・企業が求める「人財」について説明する。

<p>仕事があるな。</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き始めても企業には研修制度があり、学び続けていかななくてはならないな。 企業は人を財産だと思っている。 <p>2 本時の内容について説明を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前アンケートの回答結果を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を理解する。 ワークシートに記入する。 <p>— 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業が求めていることとはどんなことなのだろう。 企業が求める「人財」になるために今からできることはあるのだろうか。 	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事前アンケートの回答結果を提示し、生徒たちが考えていた「企業が社員に求めている資質・能力」を共有する。 本時の目標を、「企業が求める『人財』になるためには」と提示する。 ワークシートに記入させる。 その「人財」になるために、生徒自ら考えるよう促し、展開へとつなげる。
<p><展開></p> <p>3 ペアワークを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアになり、上司役と新人役に分かれる。 新人役はスクリーンが見えるように、上司役はスクリーンが見えないように対面して、椅子に座る。 上司役は筆記用具を準備する。 新人役がスクリーンに投影された絵を見て、上司役に言葉だけで伝える。 上司役は伝えられた情報を基に、配付された用紙に絵を描く。 描いた絵を照合し、上司役と新人役で共有する。 上司役と新人役が入れ替わり、ペアワークを行う。 描いた絵を照合し、ペアでよかった点と改善点について話し合う。 <p>— 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉で伝えるのは難しい。 聞いた情報を絵にするのは難しい。 言葉だけより、相手の身振り手振りを見ると分かりやすい。 <p><まとめ></p> <p>4 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> よかった点と改善点について、ペアで話したことをまとめる。 	<p>25分</p> <p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が企業に入ったことを想定させる。 欠席状況等を確認しながらペアを組ませる。（奇数時はどなたか先生に事前依頼） ペアワークの説明をする。（視覚から得た情報を言語化し伝達） 上司役と新人役を設定する。 新人役はスクリーンが見えるように、上司役はスクリーンが見えないように対面して、椅子に座らせる。 上司役に用紙を配付し、筆記用具を準備させる。 上司役は発声できない等条件を設定し、ペアワークを実行させる。（制限時間2分） ◎ペアワークが進まないペアの支援をする。 描いた絵を照合させ、上司役と新人役で共有することを促す。 上司役と新人役を入れ替え、上司役は発声してもよい等条件を変更し、ペアワークを行わせる。（制限時間2分） 描いた絵を照合させ、ペアでよかった点と改善点について話し合わせる。（人間関係形成・社会形成能力） <ul style="list-style-type: none"> ペアで話し合った内容を基に、よかった点と改善点をまとめさせる。

<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入する。 ・ワークシートに記入した内容を発表する。 <p>— 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く姿勢も大切だな。 ・もっと伝わる表現があったかもしれない。 ・絵の全体を捉えてから説明すると相手に伝えやすい。 <p>5 まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションのはじまりは挨拶であることを知る。 ・挨拶活動を実践する。 <ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標について考える。 ・ワークシートに記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・これからの学校生活で行うことをまとめる。 ・ワークシートに記入する。 ・ワークシートに記入した内容を発表する。 <p>— 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの学校生活で、○○活動を実践しよう。○○になろう。○○を心掛けよう。 ・積極的にコミュニケーションをとっていこう。 	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入させる。 ・ワークシートに記入した内容を発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・メラビアンの法則について説明する。 ・企業は、適切なコミュニケーションがとれる「人財」を必要としていることを伝える。 ・コミュニケーションのはじまりは挨拶であると伝える。 ・研修先企業で行っている挨拶活動を実践させる。 <p>(人間関係形成・社会形成能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修先企業の顧客満足フローについて説明する。 ・研究協力校の学校経営方針について説明する。 ・事前アンケートの回答結果を再度提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標である「企業が求める『人財』」について考えさせる。 ・ワークシートに記入させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・企業が求める「人財」になるために、これからの学校生活で行うことをまとめさせる。 ・ワークシートに記入させる。 ・ワークシートに記入した内容を発表させる。 <p>◇企業が求める「人財」になるために、今から学校生活で行うことについてまとめられている。(ワークシート)</p>
--	------------	--